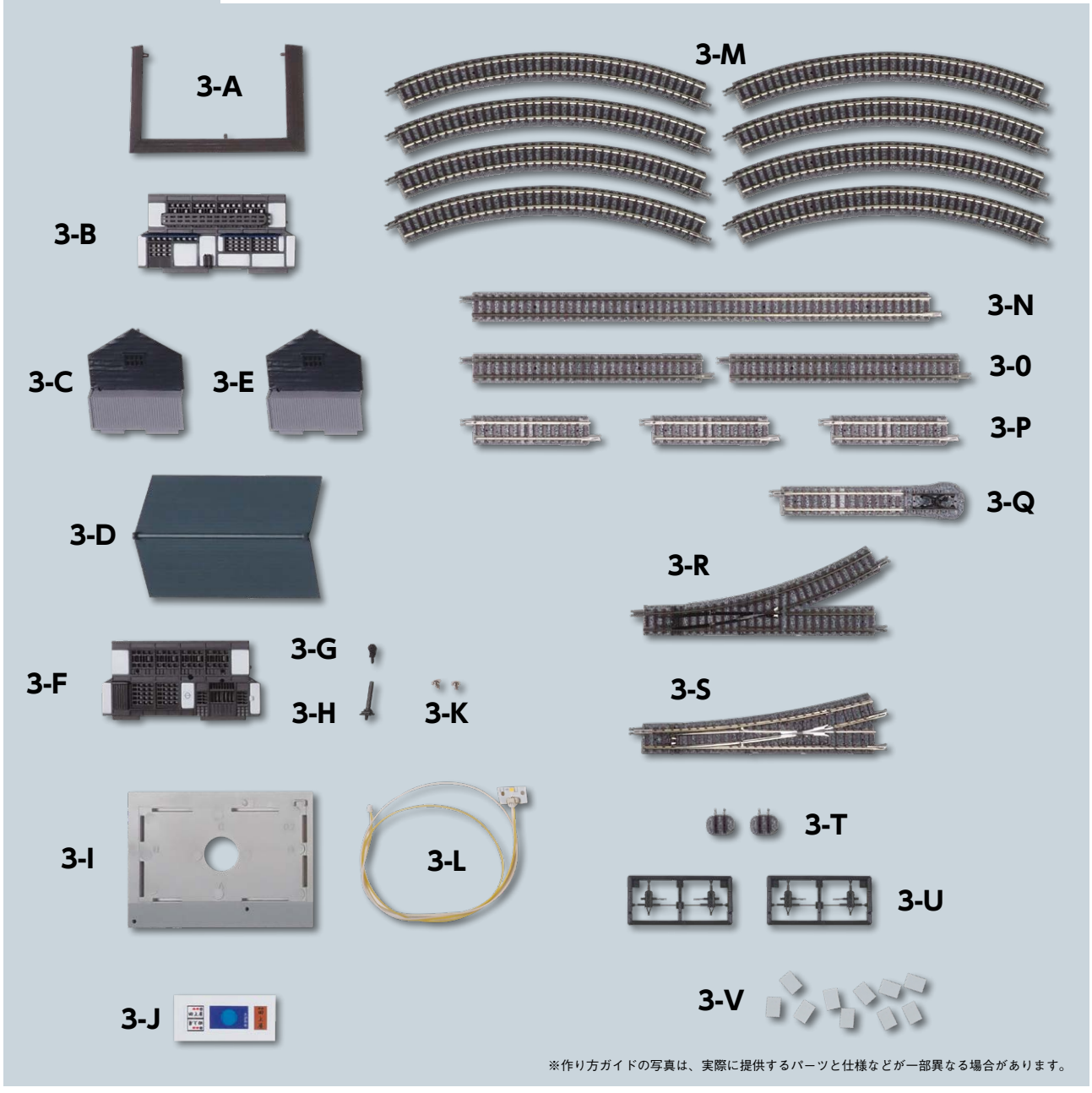
ステージ
3

はじめてつくる
本格鉄道ジオラマ

DeAgostini
COLLECTIBLES

ステージ3：旅館をつくる、レール（内周）を敷設する

パーツリスト



※作り方ガイドの写真は、実際に提供するパーツと仕様などが一部異なる場合があります。

3-A　庇
3-B　裏外壁
3-C　左側外壁
3-D　屋根
3-E　右側外壁
3-F　正面外壁
3-G　装飾品①
3-H　装飾品②
3-I　基礎部
3-J　装飾用ラベル
3-K　LED固定用ネジ
3-L　照明用LED
3-M　カーブレールC243-45（8本）
3-N　ストレートレールS280
3-O　ストレートレールS140（2本）
3-P　ストレートレールS70（3本）
3-Q　エンドレールE
3-R　ポイントN-PL280-30
3-S　ポイントN-PL541-15
3-T　ダミーポイント切替機台（2個）
3-U　ダミーポイントモーター（ランナー付き／2セット）
3-V　カーブレール台座チップ（約50個／ステージ４でも使用）

STEP 1：旅館をつくる

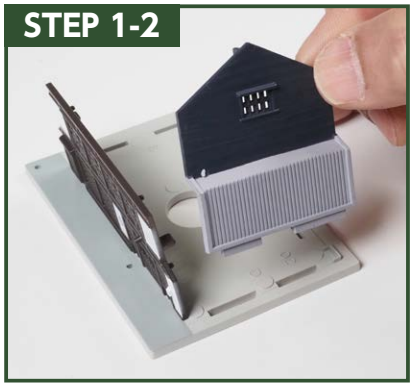
STEP 1-1

3-F正面外壁を3-I基礎部の所定の位置に差し込む。

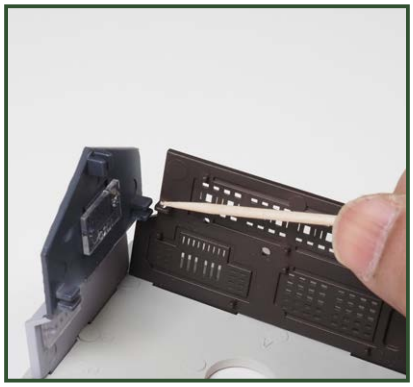
差し込むと上の写真のようになる。

※この段階では基礎部に正面外壁は接着しない。
あくまで壁４面を組み立てるためのアタリとして基礎部を使用している。

STEP 1-2



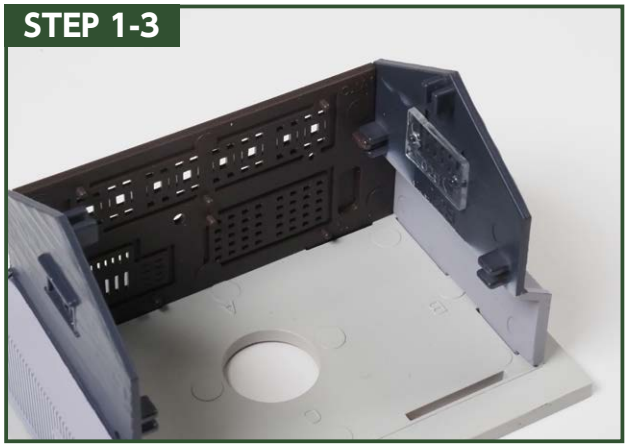
3-E右側外壁を基礎部の所定の位置に差し込む。



正面外壁内側の写真で示した位置にある爪に少量の強力接着剤を塗布する。

写真のように正面外壁と右側外壁を接合する。

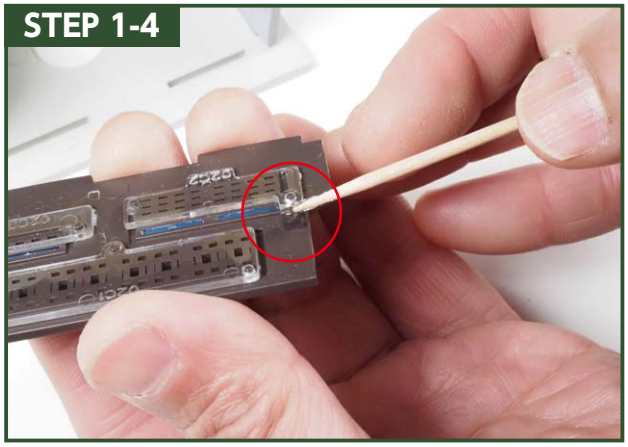
STEP 1-3



同様に3-C左側外壁も取り付ける。
取り付けると写真のようになる。

STEP 1：旅館をつくる

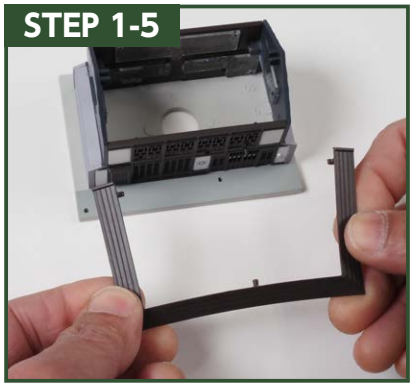
STEP 1-4



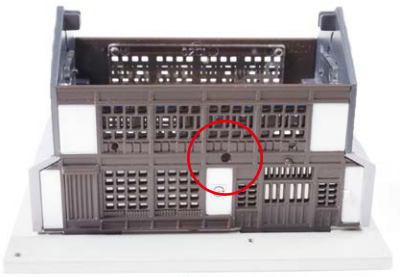
3-B裏外壁の内側の写真で示した位置にある爪に少量の強力接着剤を塗布する。反対側にある爪にも同様に少量の強力接着剤を塗布する。

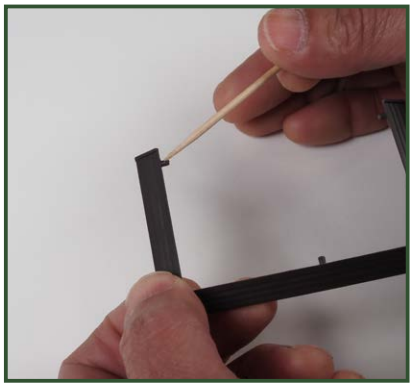
STEP1-3までで組み立てたパーツに裏外壁を取り付けると写真のようになる。

STEP 1-5



右の写真で示した3か所の穴と3-A庇の突起部の位置が合っていることを確認する。





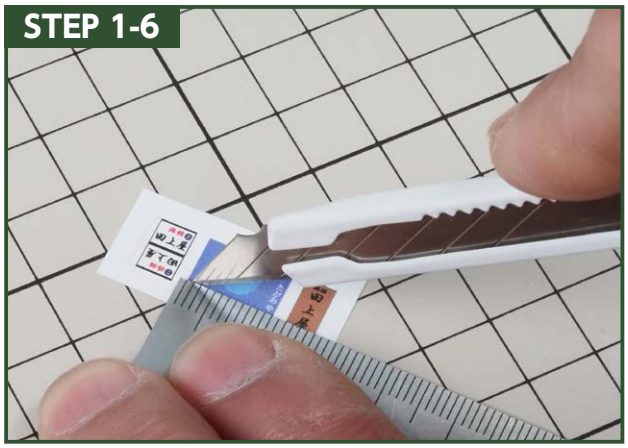
庇の３つの突起部に少量の強力接着剤を塗布する。

強力接着剤が壁面に触れないように注意しながら、庇を取り付ける。

4面の壁と庇を取り付けると写真のようになる。

STEP 1：旅館をつくる

STEP 1-6

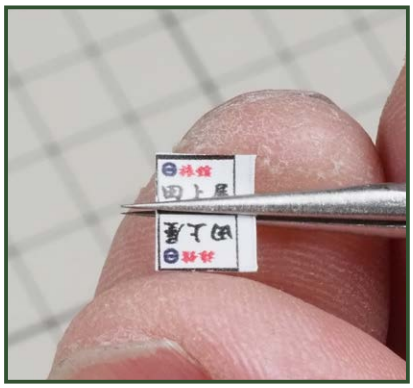


3-J装飾用ラベルから、青いラベル（暖簾）とオレンジ色のラベル（看板）を切り出す。

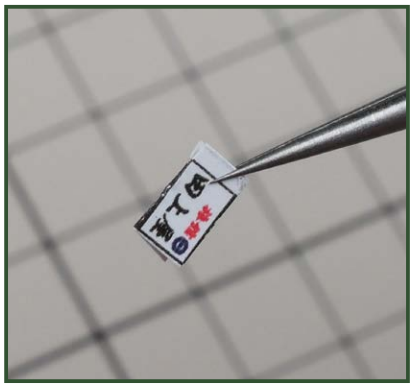
STEP 1-7

白色のラベル（袖看板）には太黒枠線の外側に薄く細い黒枠線があることを確認し、そのラインに沿ってラベルを切り出す。

太黒枠線の外側の部分はのりしろになる部分で、その部分のセンター部に切り込みを入れる。

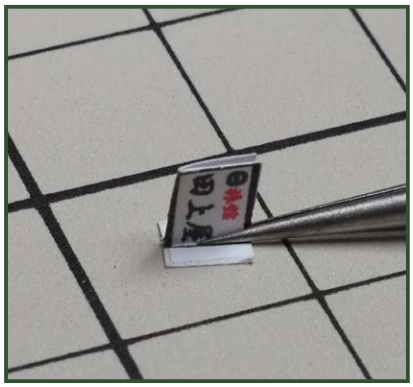


ラベルの袖看板部の裏面に少量の木工用ボンドを塗布し、ピンセットでラベルのセンター部分を挟み、看板面が外側になるように二つ折りにする。



二つ折りにすると写真のようになる。

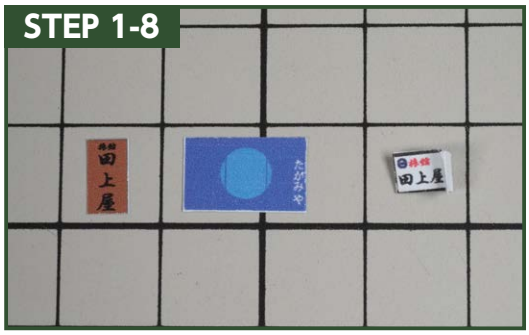
ピンセットでのりしろ部分の一片をつまみ、外側に90度折り曲げる。



同様に、もう一片ののりしろ部分も外側に90度折り曲げる。

STEP 1：旅館をつくる

STEP 1-8

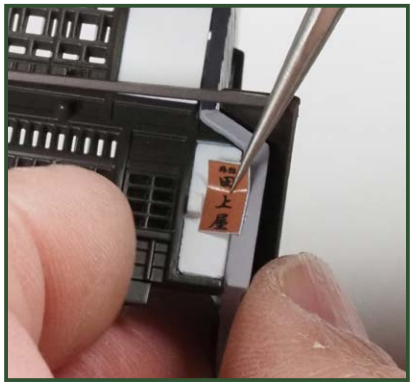


STEP1-6と1-7で切り出したラベルを用意する。

STEP1-1～1-5で組み立てたパーツを基礎部から取り外す。

STEP 1-9

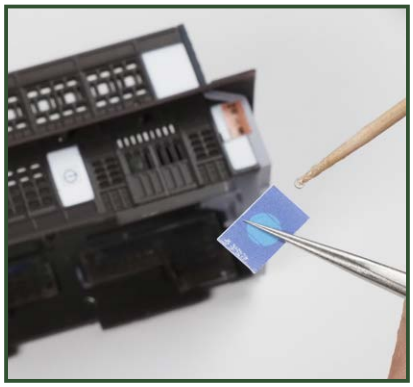
オレンジ色のラベル（看板）の裏面に少量の強力接着剤を塗布する。



写真で示した位置に、曲がらないように注意しながら貼り付ける。

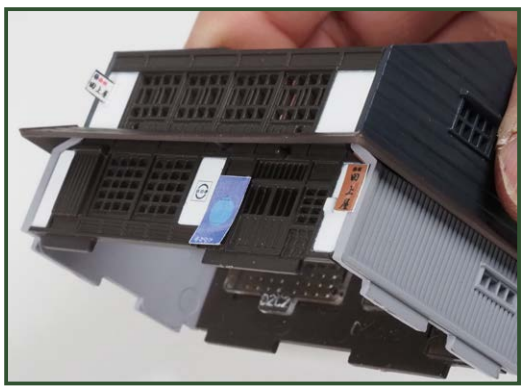
白色のラベル（袖看板）ののりしろ部分に少量の強力接着剤を塗布する。

写真で示した位置に、曲がらないように注意しながら貼り付ける。



青色のラベル（暖簾）の裏面の上から1/4くらいの範囲に少量の強力接着剤を塗布する。

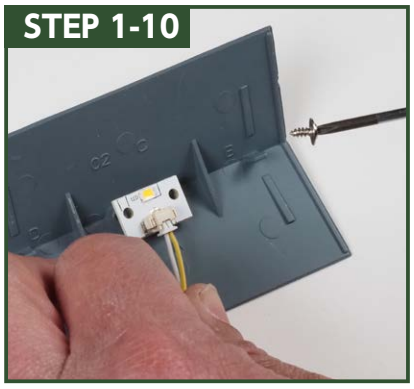
写真で示した位置に、曲がらないように注意しながら貼り付ける。



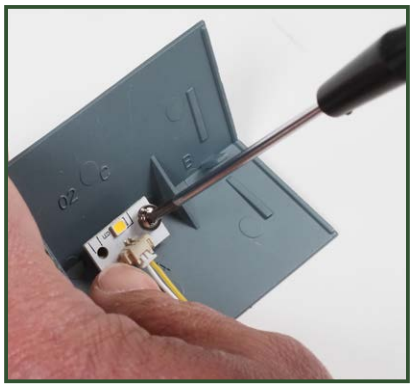
写真のように、ラベルの下の方を少し外側に曲げると、暖簾がかかっているような動きが出せる。

STEP 1：旅館をつくる

STEP 1-10



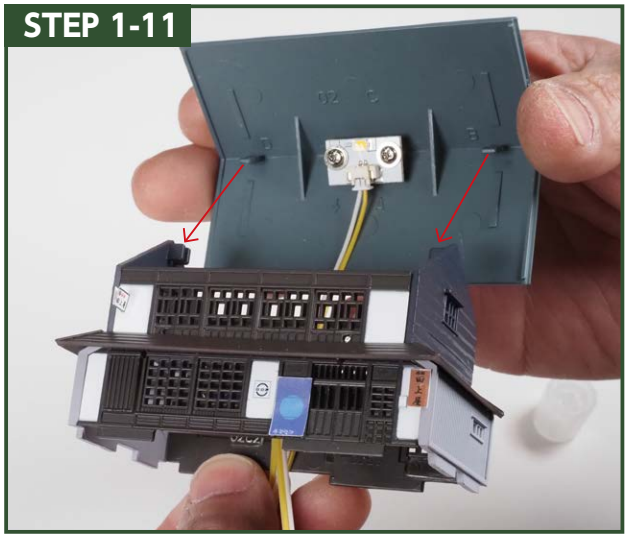
3-D 屋根の裏側の所定の位置に 3-L 照明用LEDを配置する。



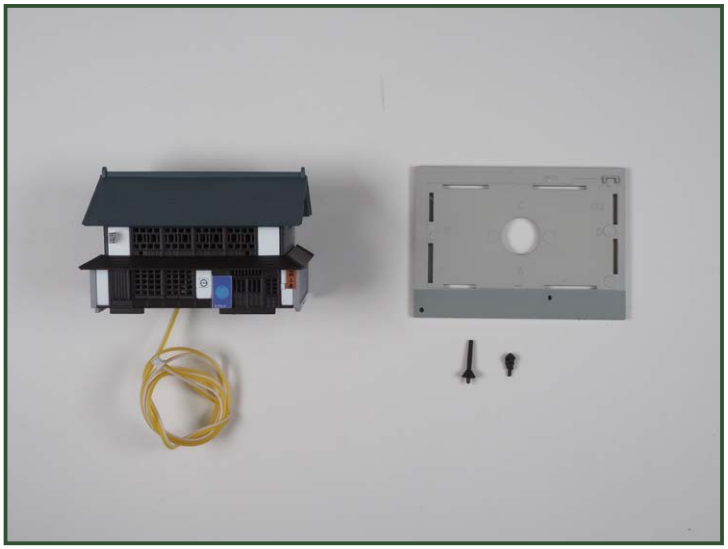
3-K LED固定用ネジで照明用LEDを固定する。

屋根に照明用LEDを取り付けると写真のようになる。

STEP 1-11



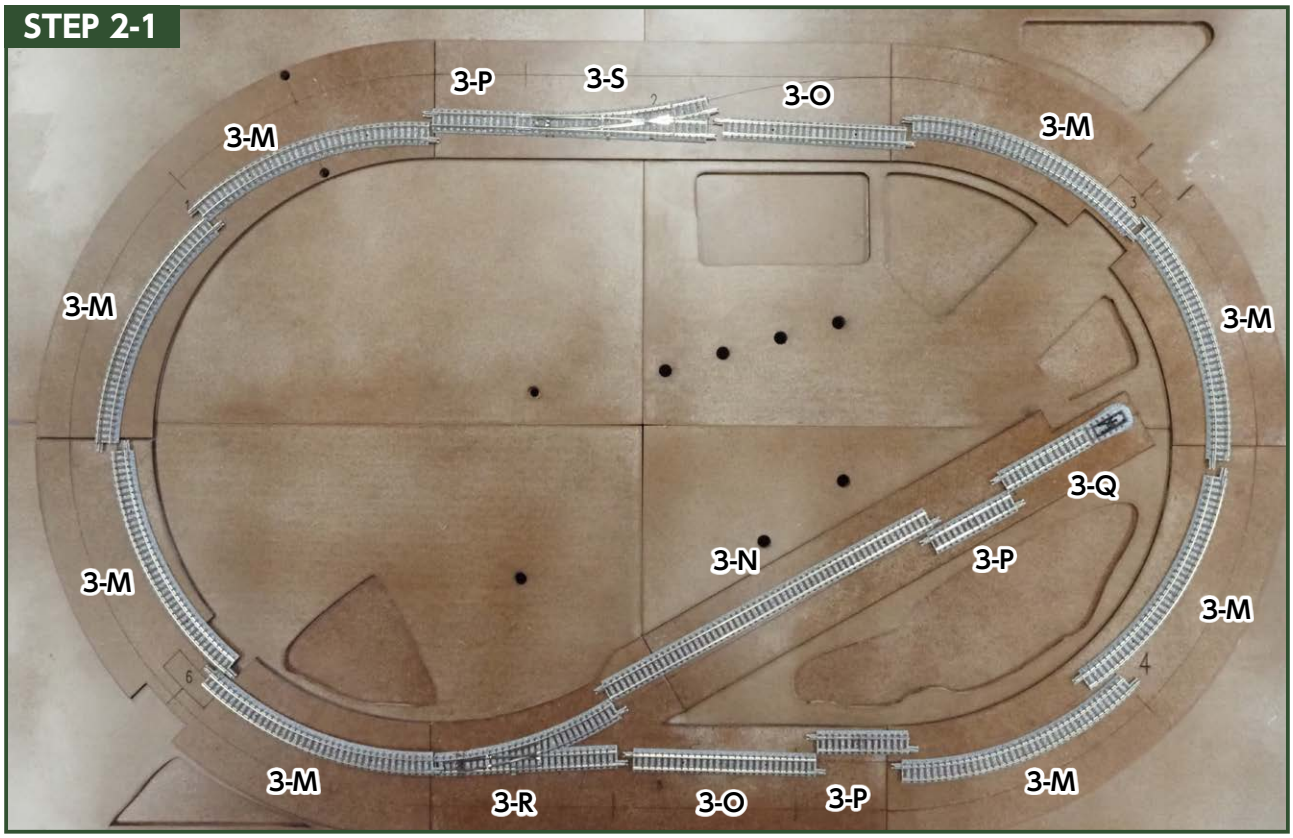
照明用LEDのケーブルを旅館壁面の内側に通す。次に屋根裏側の爪と左・右側外壁上部の爪受け部がぴったり合うようにして取り付ける。



本ステージでの旅館をつくる作業はここまでだ。3-G、3-Hの装飾品は無くさないように保管しておく。

STEP 2：レール（内周）を敷設する

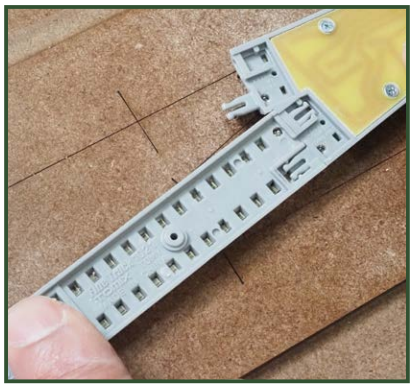
STEP 2-1



先ず3-M ～ 3-Sまでのレールを、ステージ2までで組み立てた基礎部の上に配置してみる。
レール道床に刻まれたラインは各種レールの中心線と長さを表している。この線を目安にレールを固定していくことになる。

STEP 2-2

3-OストレートレールS140を3-SポイントN-PL541-15に取り付ける。

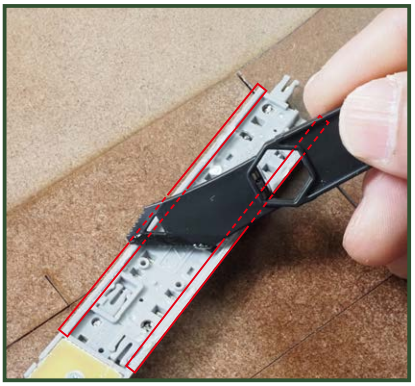


取り付けると写真のようになる。

STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-3

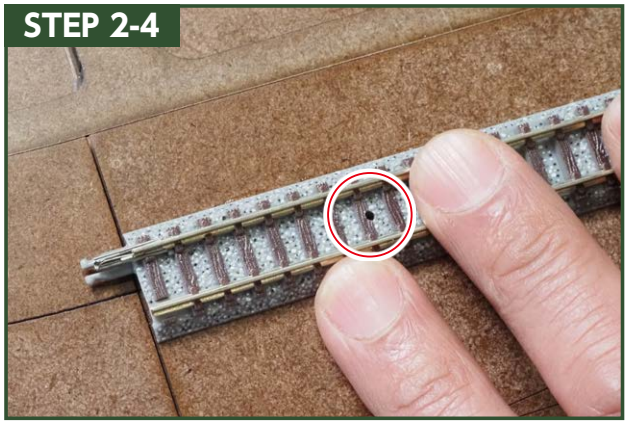
ステージ1で提供した強力接着剤用のヘラに接着剤を少しとる。



先ず、ポイントN-PL541-15の裏側の赤枠で示した両側端部に接着剤を塗布していく。この時、基板のある部分には接着剤を塗布しないように注意する。

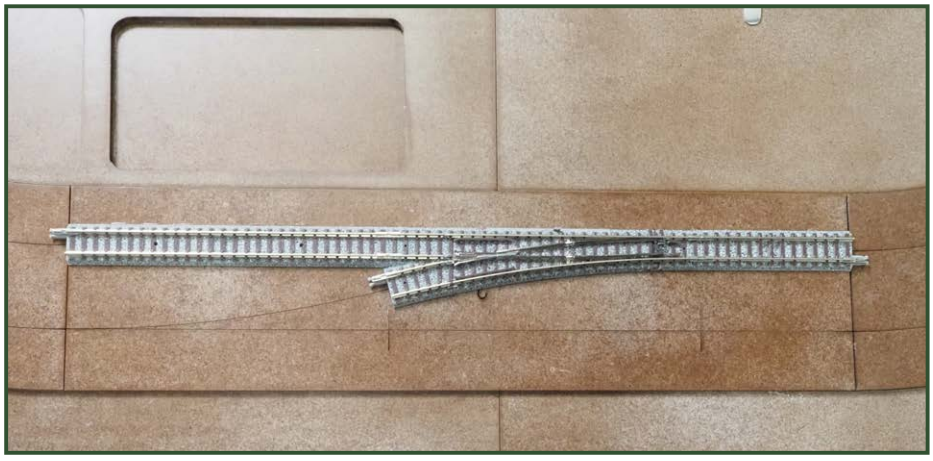
次に、同様にストレートレールS140の裏側の両側端部に接着剤を塗布していく。

STEP 2-4



組んだレールを表に返し、レール道床2の端部にストレートレールS140の端部が来るように置く。この時レール道床に刻まれたレール設置のガイドラインが、レールの中心に来るようにする。赤丸の釘穴がレールの中心になっている。

同様に、ポイントN-PL541-15の端部が、レール道床2のもう一方の端部にぴったり合っていることと、レール設置ガイドラインが、レールの中心に来ていることを確認する。



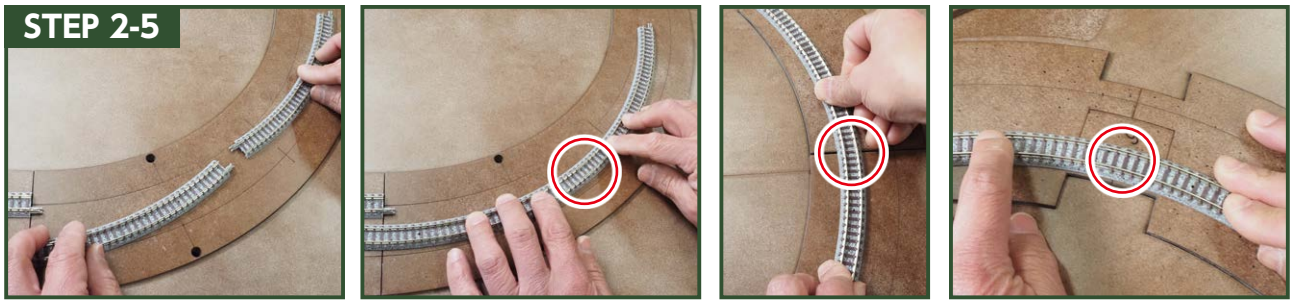
レールを設置すると写真のようになる。

ONE ワンポイント POINT

レールの接着には、ステージ1で提供した強力接着剤を使う代わりに、市販の瞬間接着剤を使用しても良い。
その場合はレールを置いた後の位置の微調整がしづらいので、レールが正しい位置に設置されているかどうか充分に注意する必要がある。

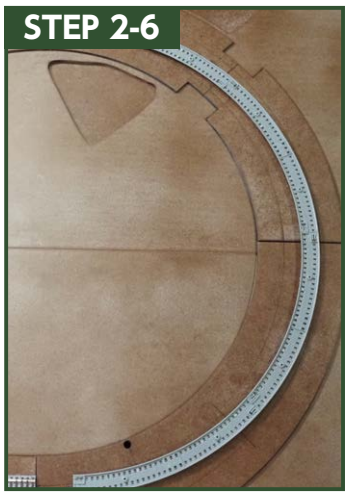
STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-5

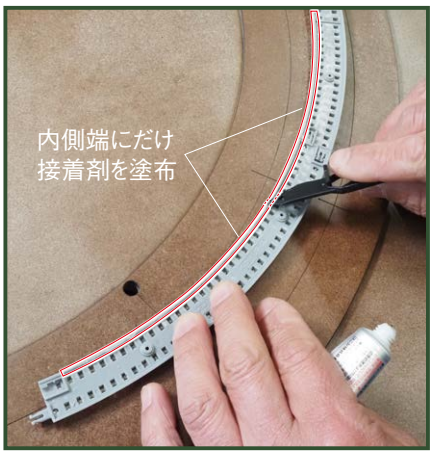


3-MカーブレールC243-45を4本用意し、写真のように繋ぎ合わせていく。赤丸は繋ぎ目を示している。

STEP 2-6

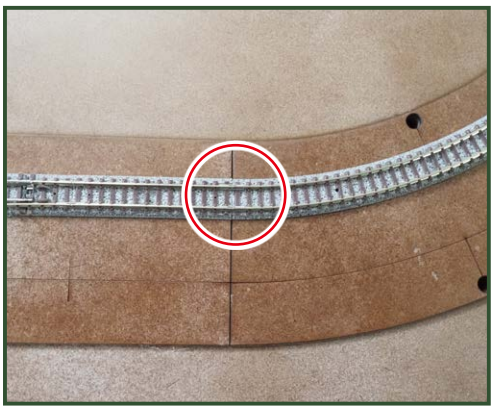


繋いだカーブレールC243-45を裏返す。



ヘラに強力接着剤を取り、カーブレールの内側端にだけ接着剤を塗布する。

※内側端だけを接着するのは、後で外側端に3-Vカーブレール台座チップを挟み込み、レールにカント（外側を少し高くする角度）を付けるためだ。

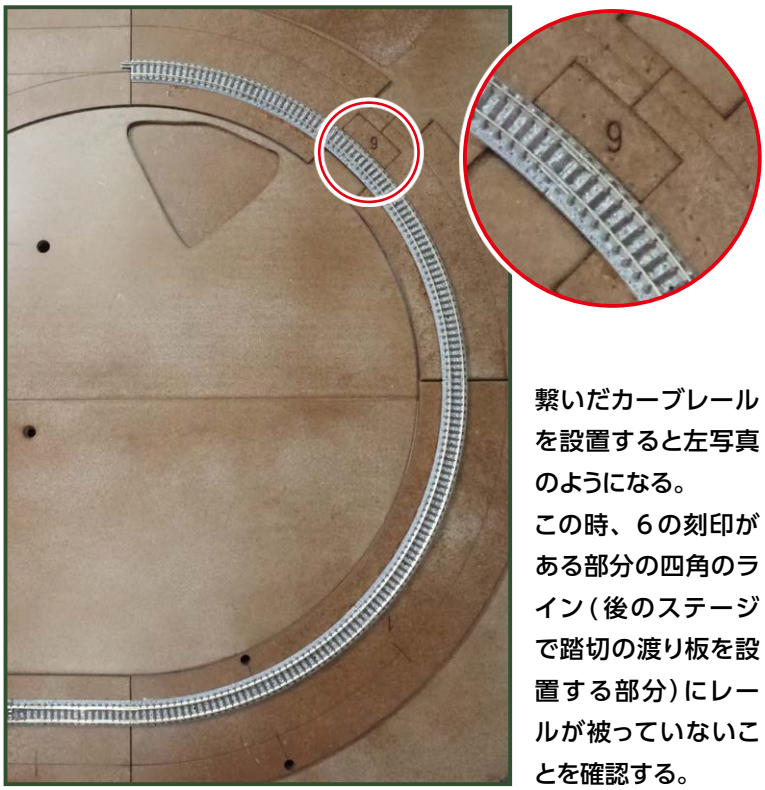


接着剤を塗布したカーブレールC243-45を表に返し、既に設置してあるポイントN-PL541-15の端部とつなぎ合わせる。

繋いだカーブレールのもう一方の端部がレール道床6の端部にぴったり合っていることと、レール設置ガイドラインが、レールの中心に来ていることを確認する。

ONE ワンポイント POINT

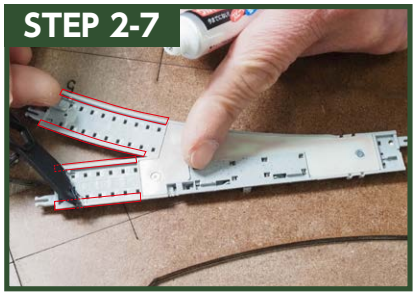
レール道床のレールの長さを示すガイドライン（レールの中心線に対して垂直に刻まれているライン）や道床の繋ぎ目と、レールの端部がぴったり合わない場合は、無理に合わせず、レールの中心線が道床のガイドラインに合う事を優先してレールを設置する。



繋いだカーブレールを設置すると左写真のようになる。
この時、6の刻印がある部分の四角のライン（後のステージで踏切の渡り板を設置する部分）にレールが被っていないことを確認する。

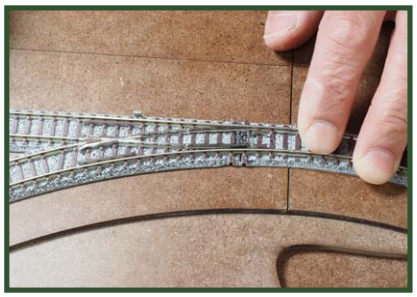
STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-7

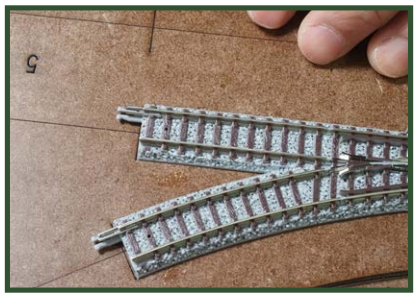


3-Rポイント N-PL280-30 を裏返し、ヘラでレールの両側端部に接着剤を塗布する。この時、基板部分には接着剤を塗らないように注意する。

ポイント N-PL280-30 を表に返し、カーブレールC243-45に繋ぐ。



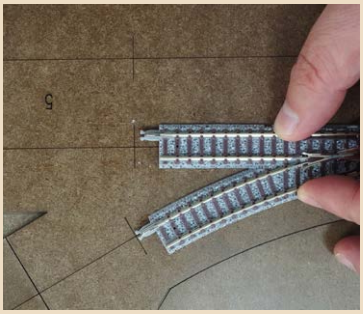
設置すると写真のようになる。



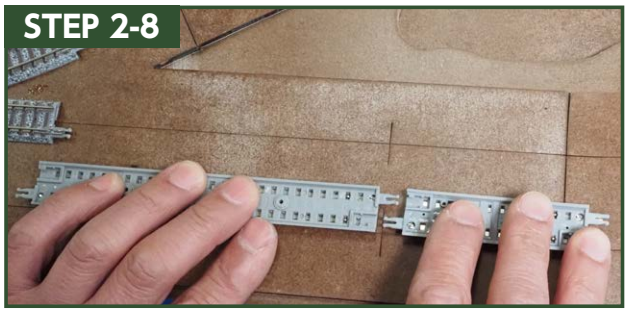
レール設置ガイドラインにポイントN-PL280-30の2本のレールの中心が来ていることを確認する。

ONE ワンポイント POINT

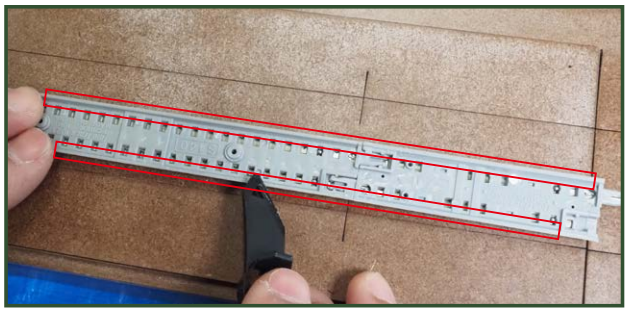
ポイントN-PL280-30の2本のレールの中心がレール設置ガイドラインにぴったり合わない場合は、内周レール側のレール中心がガイドラインに合うように設置する。



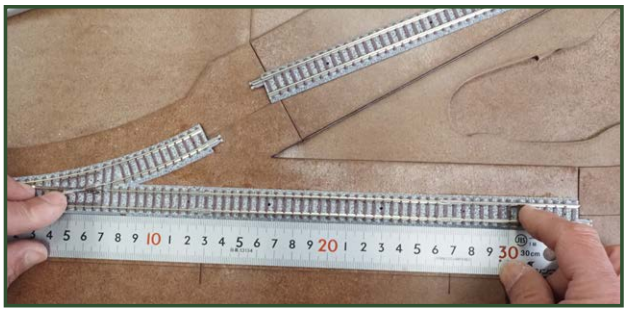
STEP 2-8



次に3-Oストレートレール S140と3-Pストレートレール S70を繋ぐ。



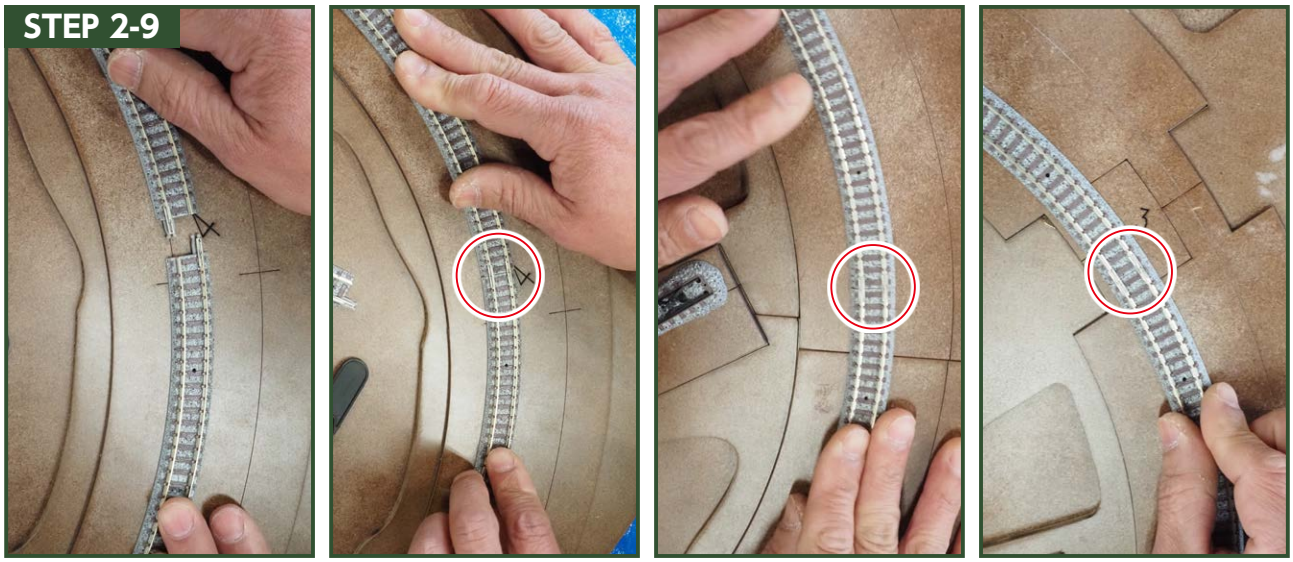
ヘラでレールの両側端部に接着剤を塗布する。



写真のように既に設置したポイントN-PL280-30の一端にストレートレールを繋いでレール道床に設置する。
2か所の接続部がきっちり直線になっているかどうかを定規を当てて確かめる。

STEP2：レール（内周）を敷設する

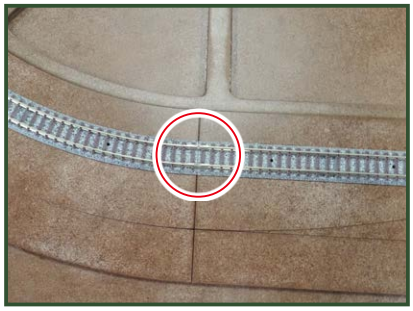
STEP 2-9



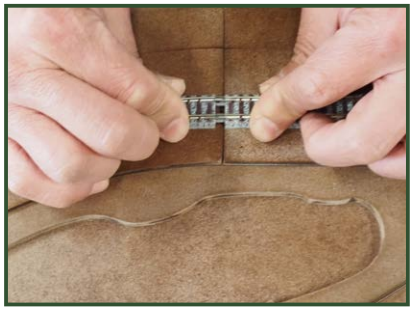
STEP2-5と同様に、3-MカーブレールC243-45を4本用意し、写真のように繋ぎ合わせていく。赤丸は繋ぎ目を示している。

STEP 2-10

STEP2-6と同様にカーブレールの内側端にだけ接着剤を塗布する。

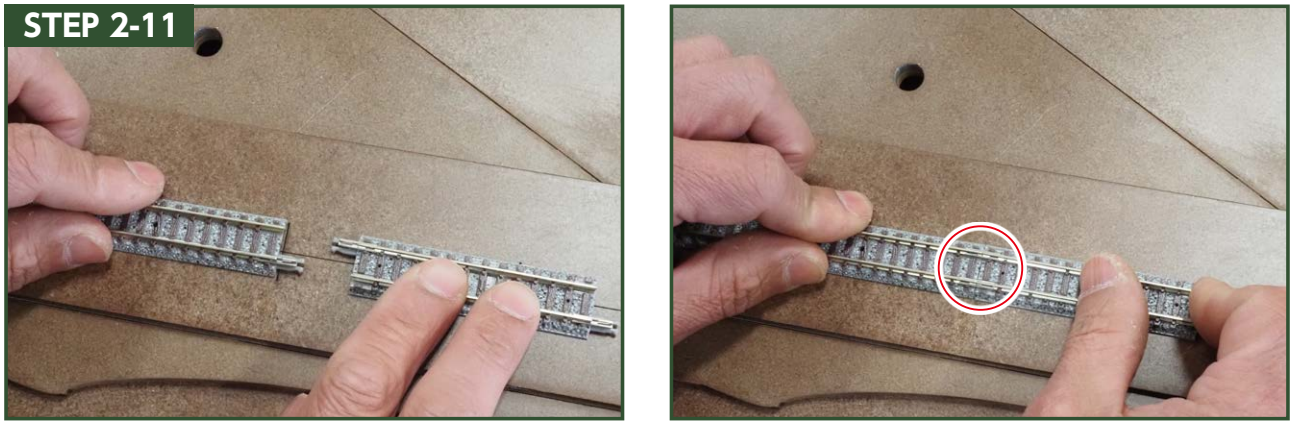


接着剤を塗布したカーブレールC243-45を表に返し、既に設置してあるポイントN-PL541-15のもう一方の端部と繋ぎ合わせる。



繋ぎ合わせたカーブレールC243-45のもう一方の端部を、レール道床3に設置してあるストレートレールと繋ぎ合わせる。

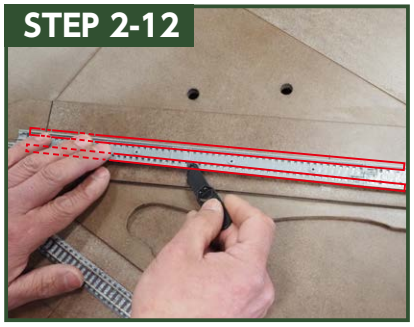
STEP 2-11



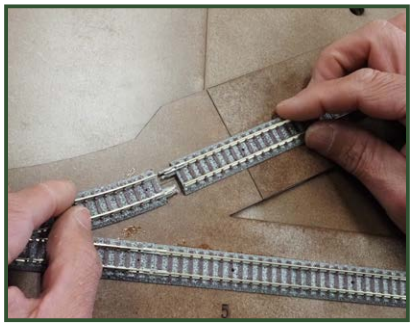
3-NストレートレールS280と3-PストレートレールS70を繋ぎ合わせる。

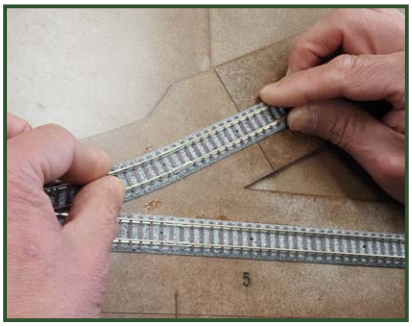
STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-12



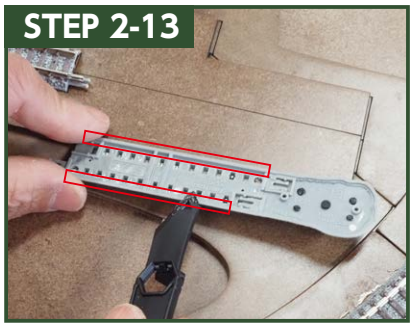
繋ぎ合わせたストレートレールを裏返し、両側端部に接着剤を塗布する。



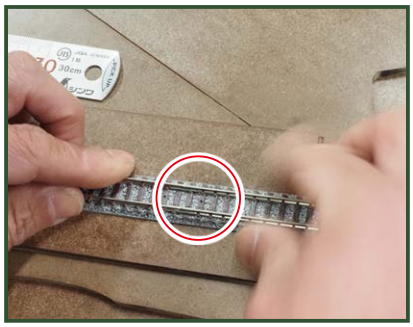


レールを表に返し、既に設置してあるポイントN-PL280-30の引き込み線側の端部に繋ぎ合わせる。

STEP 2-13



次に3-QエンドレールEの裏側の両側端部に接着剤を塗布する。



エンドレールをSTEP2-12で設置したストレートレールに繋ぎ合わせる。

2か所の接続部がきっちり直線になっているかどうかを定規を当てて確かめる。

ストレートレールとエンドレールを設置すると、写真のようになる。

ONE POINT ワンポイント

ここまでで内周と引き込み線の全てのレールを設置した。全てのレールが正しい位置に固定できているかを確認した上で、接着剤が完全に固まるまでマスキングテープで仮固定しておくと良い。

STEP2：レール（内周）を敷設する

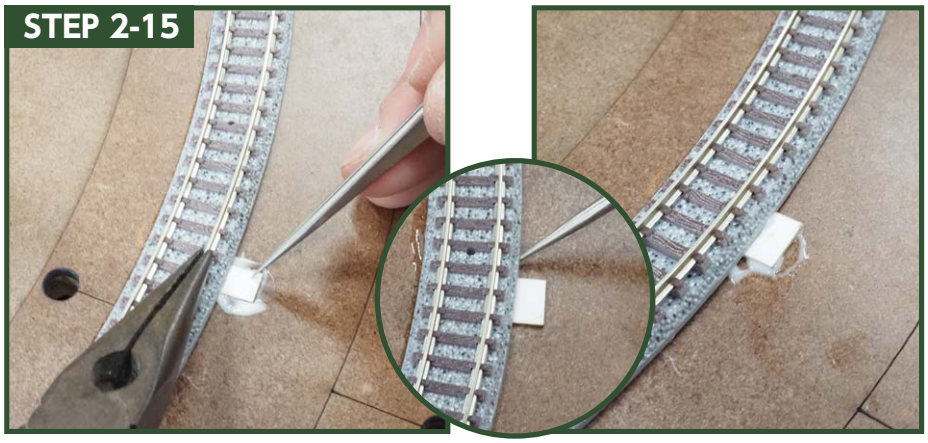
STEP 2-14

3-Vカーブレール台座チップを用意する。

※提供される台座チップは灰色だが、本作り方ガイドでは台座チップの挿入位置が分かりやすいように白色のものを使用している。

紙の上に木工用ボンドを盛り、カーブレール台座チップの片面だけに少量のボンドを塗布する。

STEP 2-15

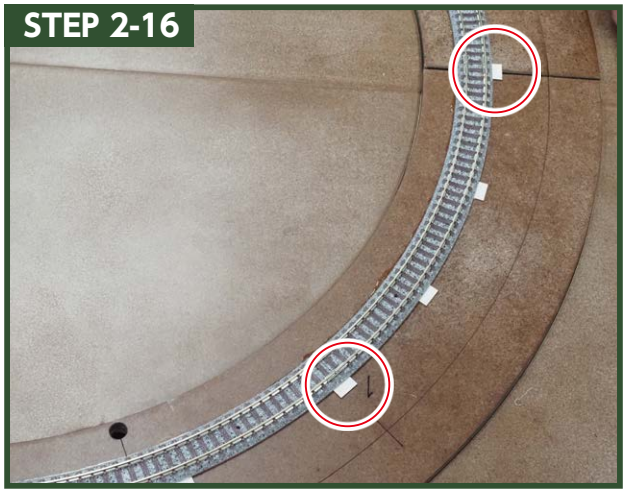


1の刻印があるレール道床の穴のある辺りのカーブレールの外側を、ラジオペンチでレールを挟むか、ピンセットの先端をレールの下に差し込むかでカーブレールの外側を少し持ち上げ、台座チップを写真のように挿入し固定する。台座チップからはみだしたボンドはふき取っておこう。

ONE ワンポイント POINT

カーブレールに台座チップを挿入するのは、カーブレールの外側を立ち上げて、カント（遠心力を緩和するための角度）を付けるためだ。

STEP 2-16



同様にレール道床1とレール道床6の境目まで、大体等間隔になるように4個の台座チップを挿入し固定する。その際、レールの繋ぎ目の部分には必ず台座チップを挿入するようにする（赤丸部分はレールの繋ぎ目を示している）。

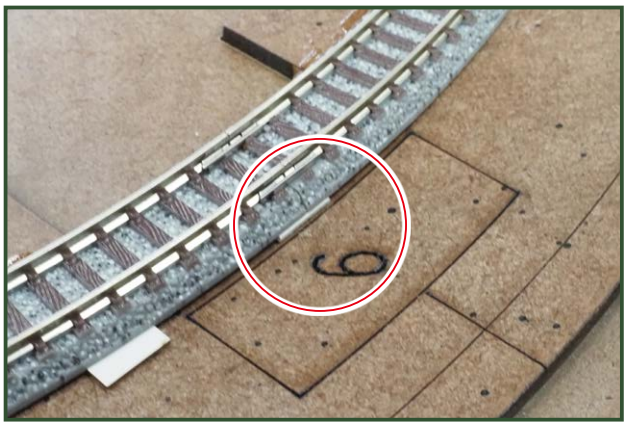
ONE ワンポイント POINT

台座チップを挿入した時、それぞれのレール面の高さが平滑になるように注意する。

STEP2：レール（内周）を敷設する

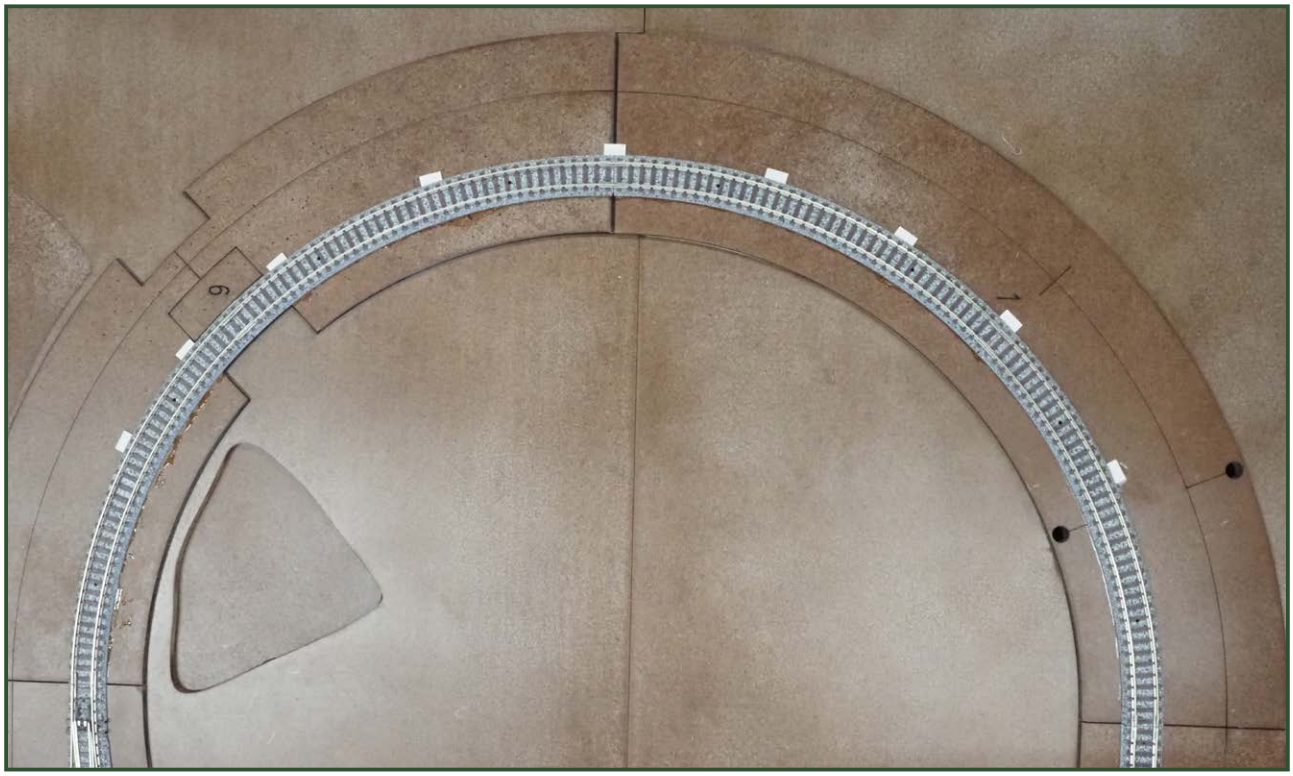
STEP 2-17

同様に、レール道床６上のカーブレールにも大体等間隔になるように台座チップを挿入し固定していく。
但し、踏切の部分は台座チップの短辺を半分にカットしたチップを用意し、右上写真のようにカーブレール外側端からはみ出さないように挿入する。



ONE ワンポイント POINT

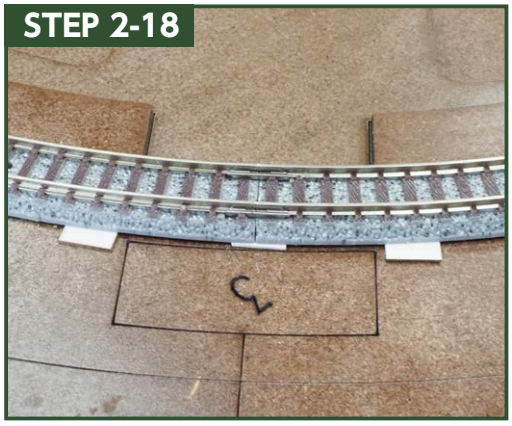
踏切の部分の四角のラインは、後のステージで踏切渡り板を取り付ける部分を表している。台座チップがはみ出ていると、踏切渡り板が上手く取り付けられなくなるので、充分に注意しよう。

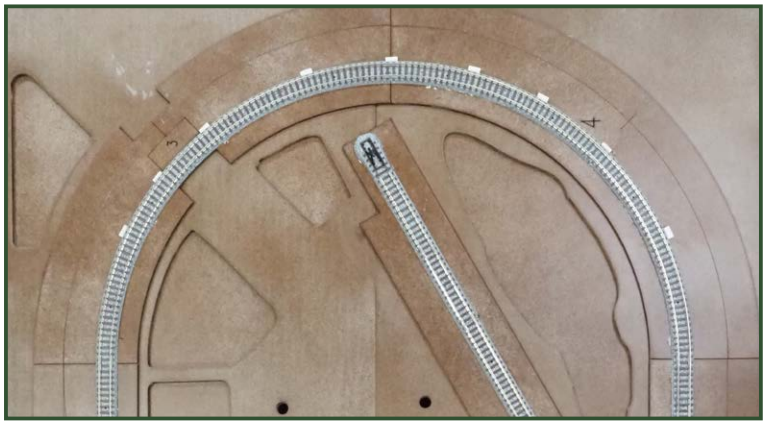


台座チップを挿入すると写真のようになる。

STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-18





STEP2-15～17と同様の作業を繰り返し、レール道床3と4の上のカーブレールにも大体等間隔になるように台座チップを挿入し固定していく。
その際、3の刻印のある踏切部分については、STEP2-17と同様に台座チップがカーブレール外側端からはみ出ないように注意する。

STEP 2-19

3-Uダミーポイントモーターのランナーの L の刻印がある方をニッパーなどで切り出す。

切り出すと写真のようになる。

※ R の刻印のある方のポイントモーターは使用しないので、廃棄して構わない。

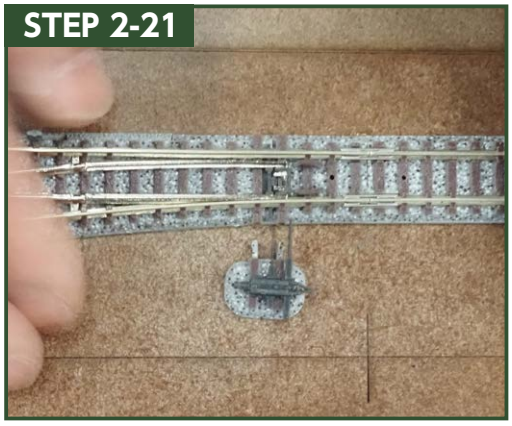
STEP 2-20

切り出したポイントモーターの突起部を、3-Tダミーポイント切替機台の穴に合わせて押し込む。

組み立てると写真のようになる。

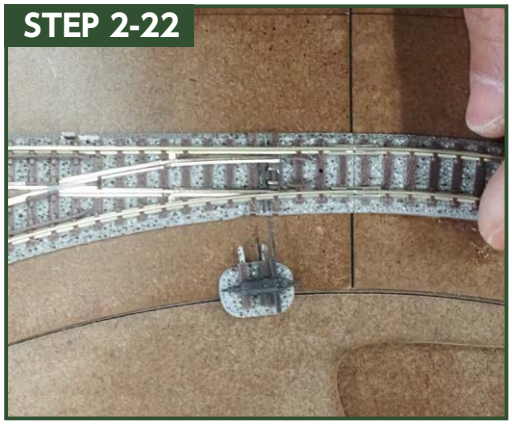
STEP2：レール（内周）を敷設する

STEP 2-21

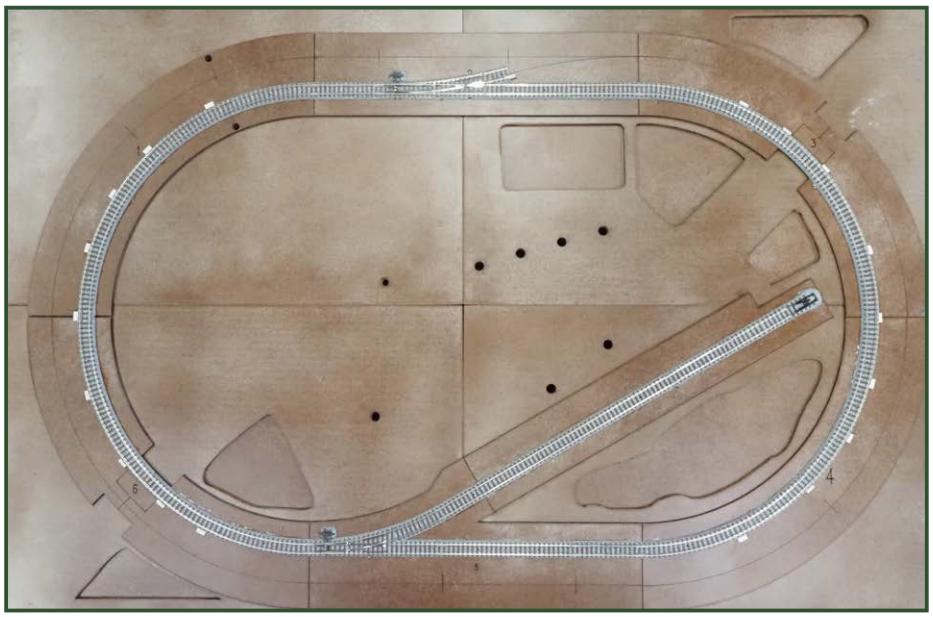


ポイントN-PL541-15の写真の部分にSTEP2-20で組み立てたダミーポイント切替機を差し込む。

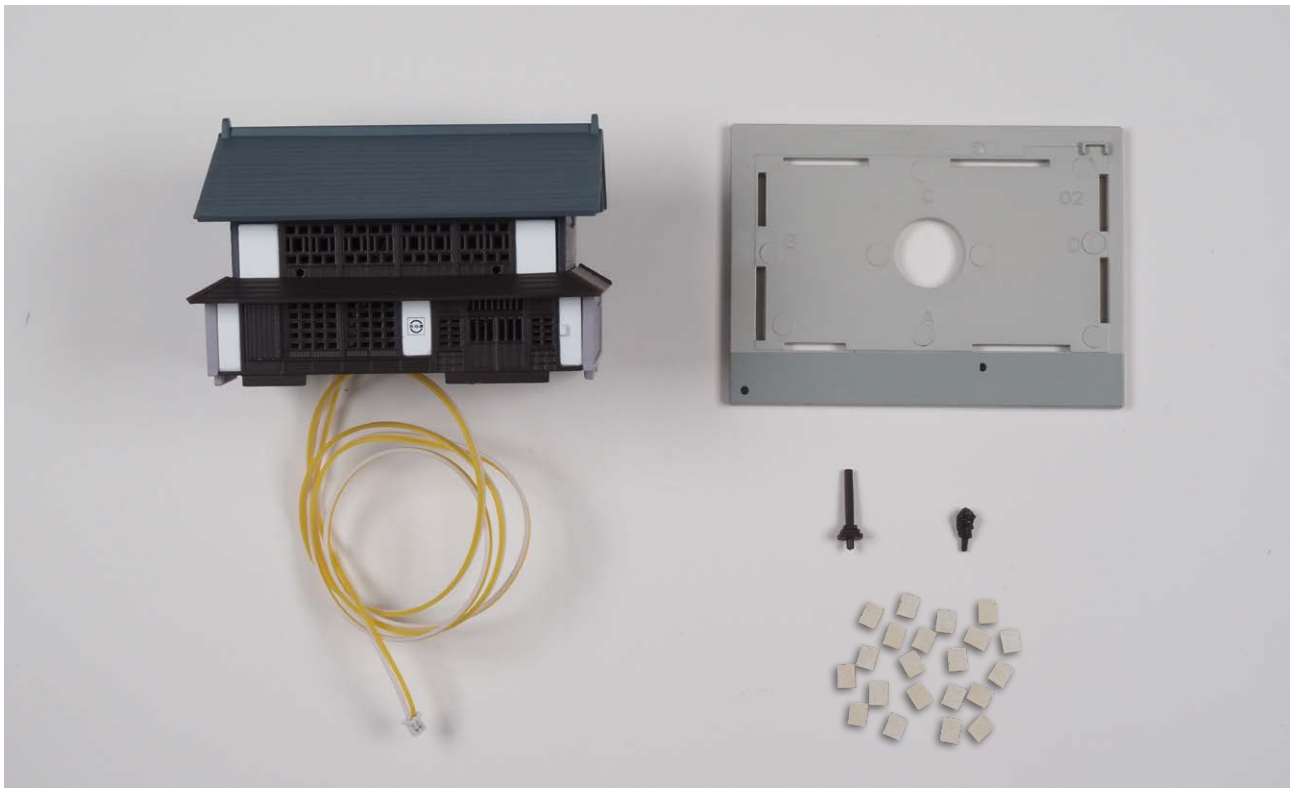
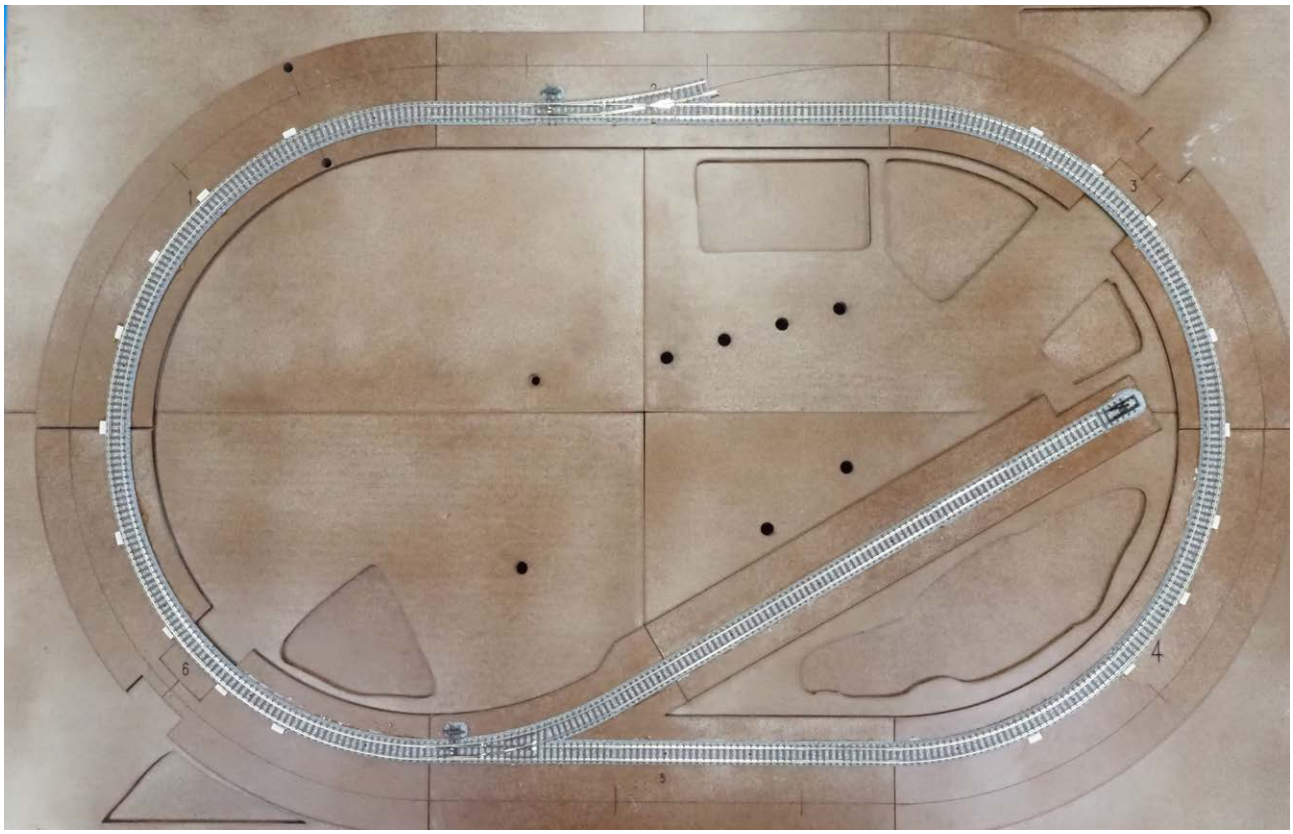
STEP 2-22



同様に、ポイントN-PL280-30の写真の部分にもダミーポイント切替機を差し込む。



レール（内周）敷設の全ての作業を終えると、左写真のようになる。

本ステージの完成

これで本ステージの作業は終了だ。
製作物と、本ステージで使わなかったパーツは紛失しないように、次のステージの作業まで大切に保管しておこう。